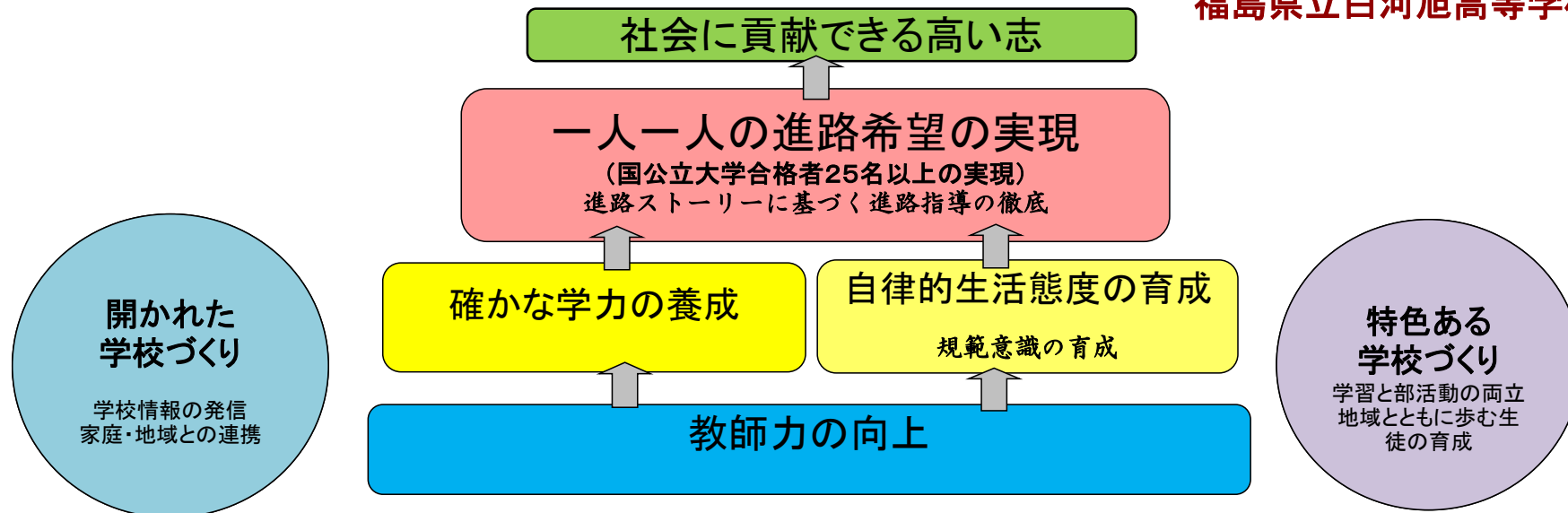


《平成31年度 学校経営・運営ビジョン》

福島県立白河旭高等学校



達成目標及び計画

学年

	達成目標	達成計画
学年	進路計画について理解し、進路実現に向けて計画の一つ一つを着実に取り組む姿勢の確立	<ul style="list-style-type: none"> 外部模試や小テスト等の結果を分析会や学年会で把握するとともに、それらの結果を生かした面談や声かけをする。 生徒と保護者が共通認識を持って希望進路を考えられるように進路ストーリーを伝える。
	個に応じたきめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と保護者の考えを把握するために、面接週間には二者面談、夏休みには三者面談を実施する。
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習を平均2時間以上実行させる。 毎朝8じ10分に全員が着席した状況で朝学習を始める。
	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 学年担任団で互見授業を行い、生徒を多角的に見機会を増やす。
	生活指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学級内の係分担任や、校内行事等における役割を最後まで全うさせる。
	規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> 校則を理解させ、違反者を出さない。 公共物を大切にすることを育むために、清掃をしっかりと行う習慣を身に付けさせる。 チャイム前着席や、提出物の期日を守ること等、先を見据えた行動を取らせる。
	学習と部活動の両立	<ul style="list-style-type: none"> 部活動顧問と連携し、生徒が学習時間を十分に確保できるようにする。
	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 月に一度、学年便りを発行する。 学校からの配布物を保護者に確実に渡させる。
	地域とともに歩む生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアへの参加を促す。

	達成目標	達成計画
二年	進路計画について理解し、進路実現に向けて計画の一つ一つを着実に取り組む姿勢の確立	<ul style="list-style-type: none"> 進路ストーリーを参考に学年進路計画を作成し、その一つ一つを着実に実行させる。 外部模試の結果を分析し、分析会を通して今後の指導について共通理解を図る。
	個に応じたきめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒との面談を通して進路についての考えや学習状況を把握するとともに、学習面での悩みを解決し学力の向上を図る。
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 確認テストなどを利用して、頭に残るような学習を目指させることで学習の習慣化を図る。 朝自習を実施し、学習の習慣化を図る。 家庭学習を2時間以上実行させる。 チャイム時着席を徹底する。
	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 互見授業を通して、教員の授業力の向上を図る。
	生活指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学級内の係分担任をはじめとして、校内行事等にも積極的に参加するよう指導をする。 学校生活への適応が不十分な生徒の保護者と連絡を密にする。
	規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が規則を理解し、自主的に規則を守るように指導する。
	学習と部活動の両立	<ul style="list-style-type: none"> 部活動顧問と連携し、学習時間の十分な確保を図る。
	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学年通信を発行する。 配付物が保護者に確実に届くようにする。
	地域とともに歩む生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアへの参加の呼びかけをする。

	達成目標	達成計画
三年	進路ストーリーに基づいた進路指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 進路ストーリーの内容を生徒・保護者に伝える。 模試終了後に分析会を実施し、進路実現に向けて個々の指導に生かす。
	個に応じたきめ細かな個別指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 面接週間に二者面談を行う。 夏休みに三者面談を実施する。 多様化する進路希望に対応すべく、適宜、面談を行う。
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 一日の家庭学習時間を2時間以上を実行させる。進路実現に向けて時間を有効に使うよう指導する。
	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の記録をもとに、生活状況を把握する。
	生活指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 互見授業を通して、教員の授業力の向上を図る。
	規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> 係分担任を通して、学校活動に積極的に参加させる。 服装頭髪等の校則を遵守させる。 提出物を期限内に提出させる。 清掃を積極的に行う。
	学習と部活動の両立	<ul style="list-style-type: none"> 部活動顧問と連携し、普段の学習時間の確保を図る。
	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学年通信を学期ごと2~3回程度発行する。 配付物が保護者に確実に届くようにする。
	地域とともに歩む生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティア等の活動参加を支援する。 地域の方々との交流の機会を増やす。

部

	達成目標	達成計画
教務部	進路ストーリーに基づいた進路指導の徹底	・個に即したきめ細かな指導を展開できるような教育課程の研究・編成を行う。
	学習習慣の確立	・家庭学習の記録・学習リポート等の実施をとおして、生徒に自主的に学習に取り組む習慣を身に付けさせる。
部	授業力の向上	・授業の構成・展開について研究が深まるような実効性のある互見授業を検討する。
	学校情報の発信	・体験入学・入試説明会の実施、スクリーン等の作成・配付をとおして、中学生・保護者・中学校関係者に本校の特色等を周知する。 ・域内の中学生や地域の方々が本校に興味・関心を抱くよう行事毎にHPの更新を行う。
生徒部	生活指導の充実	校外での事件・事故を確実にクラス担任および職員に伝える。 部会で各学年連携のもと、生徒の実態把握をする。 相談部と連携を図り、カウンセリングを受けている生徒の把握をする。
	規範意識の育成	朝の登校指導の際、生徒部及び全職員であいさつを励行する。 定期考査毎に服装頭髪指導を行い、正しい着こなしと頭髪を徹底させる。 自治委員と協力し、貴重品管理を徹底させることで盗難を予防する。 二重ロックを徹底させることで、自転車盗難を未然に防ぐ。
	学習と部活動の両立	平日の練習時間の確認、週末の部活動のあり方、考査前の練習時間の確認等について明確にし、実行する。
	学校情報の発信	生徒部通信を適宜発行し、生徒が安心して学校生活を送るための情報を提供する。

	達成目標	達成計画
進路部	進路ストーリーに基づいた進路指導の徹底	・「進路ストーリー」が教員、生徒、保護者に認識、活用されるよう、それぞれの立場で活用しやすい形式で作成し、教室掲示や保護者配付を行う。 ・職員会議では、全職員で月間の進路ストーリーの確認を行う。 ・各学年と連携し、「進路ストーリー」にのっとりた進路指導を実践する。 ・学年進路部は、LHRや学年集会等を利用して、積極的に生徒に「進路ストーリー」の流れを周知徹底させる。 ・模試分析会や検討会を最大限に活用する。
	個に応じたきめ細かな個別指導の充実	・模試分析会や出願検討会の際、全体的な分析・検討だけでなく、生徒個別の分析・検討を行う。 ・模試分析会や進路希望調査の結果を二者・三者面談に反映させる。 ・国立大学の推薦入試や個別試験の早期個別指導を充実させる。 ・公務員をはじめとする就職希望者に対する個別指導を充実させる。
	学習習慣の確立	・スペシャリスト育成ミッション支援事業に掲げる各学年の家庭学習の目標時間を達成するよう、教務部、学年と連携し「家庭学習の記録」の活用を図る。 ・「家庭学習の記録」指導が学習時間の確保だけでなくとどまらず、学力の向上につながる指導を心掛ける。

	達成目標	達成計画
厚生部	規範意識の育成	4月末・6月末・9月末・11月中旬・2月末（3学年以外）に美化委員を招集し、清掃活動の実態を把握する。問題点における改善を考えさせる。上記の件で、生徒集会前に美化係担当職員が校内を巡視し、問題点を生徒集会の際に指導する。校内のゴミ分別を明確にし、徹底させる。
	学校情報の発信	保健だよりを定期的に発行し、学校内の保健行事の連絡や、季節毎に必要な情報の発信を行う。
	地域との連携	防火避難訓練の際に、関係機関への通報・連絡を行い、指導を仰ぐ。 防災避難訓練時に、近隣の住民の方々へ訓練実施の連絡を行い、協力を求める。
	基本的な生活習慣の確立	食事に関するアンケートを年2回実施し、未摂取および肥満の生徒への指導を実施する。 上記アンケート結果に基づき改善を要する点については、保護者を含め保健だよりを通し必要な情報を提供する。 口腔衛生についての意識を向上させる。
渉外部	学校情報の発信	P T A広報誌・同総会報を発行する。 HPで情報を提供する。
	家庭・地域との連携	P T A、後援会および同窓会等の役員会、総より連携を密にする。 保護者と連携し学年委員会を活性化させる。
図書部	学習習慣の確立	・読書への興味関心を高め、読書の機会を増やすためポスターや図書便りなどでの呼びかけを行う。 ・学習に適した環境作りに努め、学習の場としての図書館利用を促す。 ・授業内容や進路に関する調べものをするに必要な資料を充実させる。
	規範意識の育成	図書館の利用上のマナーを厳守させる。

教科

	達成目標	達成計画
国語科	個に応じたきめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 朝自習、小テスト、月例テスト、課外などを通して、基礎学力の定着と上位層の実践力の養成を目指す。 個々の進路希望に応じた小論文の書き方を授業などで指導する。 添削指導を生徒の学力に合わせて行う。
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 週末課題など、家庭学習課題を毎回与え、その都度点検を行い、学習習慣を確保させる。
	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 互見授業や研究授業を有効に活用する。また教科担当者間での連絡を密にし、授業方法について話し合う機会を設け、進度や内容が適切になるようにする。
地歴・公民科	個に応じたきめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 模擬試験の分析結果をもとに苦手分野の課題克服を図る。 日本・世界情勢、世界的課題・日本特有の課題について1年次から随時提供し、興味・関心を喚起する。
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> まず自分で調べる・考える、それでもわからないことは聞くという学習態度を養う。
	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> アクティブラーニングを積極的に取り入れ、互見授業でその成果について検証する。 互見授業の反省や助言等を生かして、授業力の向上を図る。
数学科	個に応じたきめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 模擬試験前後に、プリント学習を実施する。
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 学年により平常課外、土曜課外を実施する。 週末課題を毎週提出させ、家庭学習の定着させる。 フォローアップを完全実施する。
	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 教科内外に関わらず授業を参観し、授業の構成・展開について協議し、授業研究を深める。 予備校と連携した課外授業の実施をし、受験指導の手法を学ぶ。

	達成目標	達成計画
理科	個に応じたきめ細やかな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 3年生において、進路に応じた課外や課題を計画的に実施する。 模擬試験の分析結果をもとに、苦手分野を把握し克服を図る。
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 授業や長期休業時に復習を重視した課題を与え、その都度提出・点検を行う。 生徒に自主的に学習に取り組む習慣を身に付けさせる。
	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 互見授業を通して、アクティブラーニングを取り入れた授業の構成や展開について研究を深める。 互見授業や公開授業、研究協議等の反省をふまえて、授業の改善を図る。
保健体育科	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 体育授業は、集合・整列・準備運動を体育委員のリーダーシップの下で行い協力できる態度を養わせる。 自主的・意欲的に授業に参加できるようにさせる。 保健授業は、始まりのチャイムで授業がスタートできるように努める。
	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 体育の選択授業は、適切な班編成を行い、各種目のリーダーを中心に計画的に授業が展開できるように配慮する。 保健の授業は、教科書「現代保健体育」と「現代保健ノート」を用い授業を行い、PC等を用いたり、グループワーク等を行い、主体的な学びの実践が行えるようにする。
	規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> 体育授業は、年間を通じて正規のジャージを正しく着用させる。 集合・整列が素早く行えるようにする。また、挨拶を元気よく、しつかり行えるようにする。
情報科	学習と部活動の両立	<ul style="list-style-type: none"> 運動部活動の活性化を図るため、スポーツに対する興味関心を持たせ、加入率を向上させる。
情報科	規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、情報社会に参画する。

	達成目標	達成計画
英語科	個に応じたきめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 模試分析や出願願状の精査を受け、生徒の得意・不得意を把握し、3科目上位で特に英語を不得とする生徒への個別指導に留意する。 個別指導や英検・GTECの指導を適切に実施し、4技能の育成を図る。
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 授業および週末や長期休業中にも計画的に課題を与え、提出状況や学習状況の点検を継続的に行うことで、家庭学習時間を確保させる。
	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 本校制の弱点分野を考察し、その克服のための効果的な指導方法について情報交換を行い、授業に活かす。 相互に授業を参観しあい、授業研究を深める。
芸術科	少人数教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 少人数クラス編成の目的に応じ、実態に即して基礎学力の定着から応用問題の演習に至るまで効果的な活用を図る。 少人数授業の特徴を活かし、A L Iと協力しながら、4技能の育成を図る。
	個に応じたきめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 全体指導も重視しつつ、各生徒の課題や進度に合わせた個別指導を充実させる。 題材ごとに合評会・発表会を実施し、生徒一人ひとりの学習成果を確認する機会を設定する。
	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 芸術表現分野において本校生徒が課題とする領域を研究し、課題克服のための改善策を各々の授業で実践・検証する。 互見授業週間における授業参観や、県高等学校教育研究会等への参加によって得られた知見を授業の改善に生かす。
家庭科	学習と部活動の両立	<ul style="list-style-type: none"> 芸術研究と部活動を連動させつつ、芸術系の進路希望者に対する計画的な実技指導を行う。
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 基礎技術の定着を図るため、実習時間を確保する。 授業で学んだことを学習の継続として、家庭で実践するよう指導する。
	授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 校外の研修や情報交換を積極的に行い、新たな指導技術を身につける。
家庭科	規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> 実習をとおして、協働の意識を高める。